

四連快ニコース

オ11号

文学部四年生連
総務会事務局
一九六八年二月三日

教授会文就職事務
再開の方向を決定

昨日の対文学部長団交の成果 増まさ長期ストライキ体制を強化せよ！

全学の学友諸君、就中文学部の四年生諸君、田連棟の諸君にまず昨日行なわれた
對文學部長團交の成果を知らせたい。

既に伝えられているように、一昨日の対教育學部長代行との團交の中に於いて、
教育學部教授会から對學長・評議會團交を斡旋するという確約が交された。かくして
對學長・評議會團交の可能性が現実的なものとなつた所点において、我々と文學
部長との団交が得られた。

この團交の中に於いて我々は、文學部事務室における就職事務——各種證明書等
の發行——の再開をひらくべく要求を出した。そこにおける我々の基本的な条件
は、ストライキ体制と敵対してはならぬ故、我々が管理する正館内において我々
の把握し得る形態でなければならない、具体的には週2回程度、就職事務室について
行なう、というものであった。我々が特殊文學部事務室の再開を要求したのは、現在
緊急な課題となつてゐる教育關係への就職を保証することが第一義的なものとして
位置づけられるからである。

我々の条件は、技術的に全く可能であるといふことがこの團交の席上で明らかに
された。まず、郵便物は大學当局によつて小石川郵便局に止められていたのが、一
年半あたゝから正常化へとつたことが明らかになつた。このことは、大學当局
が學生のストライキを口実に、自ら進んで事務を「混亂」させ、學生に対する攻撃
としてきたものに他ならぬ、との裏證であつた。文學部事務室に於いては、毎2
回程度ハ事務室開室は可能であつた。文學部事務室に於いては、毎2
可能であるといふことが判明した。つまり、我々の出した条件というものが技術的
には何ら不可能ではないことが明らかにされたのである。それ故、我々は文學部長
に対し、教授會において我々の点を確認し、直ちに文學部事務室職員に対して我々の
ご解を求め、早急に事務再開を図る旨を確認した。

その後、岩美会館の團交に参加した。名は、直ちに文學部事務長との会見を、
実現し、文學部長より指示があれば事務としてはそれを執行するという点を確認し
た。そして、文學部教授会として事務再開の方同で努力するという解答を教授會ま
で受け取り、事務室の方と交換して、15日正午には事務を再開できる様に努めたと
いう確認をした。

学友諸君！ 我々の苦言を呈したい。それは、二つ目一氣にして就職事
務再開を言い、その上には本館封鎖も解かざるを得ないといつていだ學友會いた
が、彼の本意は昨日の團交に殆んど参加していなかつたという事実である。我々が斗い
た中で二つ就職問題を解決しようとしたが、彼らは二つ点を全く看
殺してしまつて、ただ現実的大就職事務の再開のみ目を奪つてゐるのである。
学友諸君！ 確認しうるが如何いか！ 我々は現在斗つてゐるのは就職移動阻止斗
争なのであり、就職問題はその中で解決されるのでなければ、移動阻止の斗争全
く有りし得ないということを。

明日から夏休みが始まる。だが我々の争いがその中にありとも更に強く進められ
ることでなければ、今迄の斗争も全て火種に帰してしまうであろう。

學友諸君！ 夏休みに向けて更なるストライキの強化をからだろうではないか、
が、夏休みに於し、夏國による意志階級の中、力強さを競争を前進させることを心か
ら、諦め。